一般財団法人
日本チェロ協会
JAPAN CELLO SOCIETY

日本チェロ協会会報 第56号 2020年10月31日発行

JCS NEWS

vol. 56

CONTENTS

第4回ジュニア・チェロ・キャンプ開催報告 2 - 4
コロナ禍特集 4 - 5
拝啓、いかがお過ごしですか
Cellist's update 6 - 7
メンバーズ 8
チェロ・サロン開催報告
事務局からのお知らせ
編集後記

第4回 ジュニア・チェロ・キャンプ 開催報告

BEYOND THE DISTANCE
拝啓、いかがお過ごしですか
WITH COVID-19

チェロ・サロン開催報告

Junior Cello Camp

第4回 ジュニア・チェロ・キャンプ

Photo by 坂中雄紀

ご指導いただいた先生

■ソロ演奏コース

堤 剛先生、長谷川 陽子先生、堀 了介先生、山崎 伸子先生

（ピアニスト）鳥羽 亜矢子先生、諸田 由里子先生

参加者数

ソロ演奏コース 11 名、聴講コース 17 名

令和2年10月11日（日）に桐朋学園大学調布キャンパス（東京都調布市）にて、第4回ジュニア・チェロ・キャンプを開催いたしました。今年は新型コロナウイルスの影響を受け、新しい日常の中での実施となりました。

感染拡大を防ぐため、大変残念でしたがアンサンブルコースを中止とし、ソロ演奏コースと聴講という形で開催させていただきました。開催直前には、台風直撃の心配もありましたが、進路が変更になり無事に開催できたことは大変幸運でした。例年とは異なる形態での開催については、参加者の皆さまにご理解とご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

堤先生より

〈開講式〉

本日は何とか開講することが出来、私共一同、大変嬉しく思うと共に、ほっとしています。今年は、新型コロナの影響を大きく受けましたが、さらに直前で台風14号接近という事態まで受け、開催出来るかどうか心配でもありましたが、今日皆さんの元気な顔を見ることが出来、本当に良かったです。このように大変な時だからこそ、今回集まって下さった皆様の頑張りが、私共にとって励みになり、又皆さんの努力によって、今後のチェロ界、音楽界、社会全体の未来が開けてくると思います。今回は、出来るだけ多くの事を吸収し、ご自分の今後の練習の糧になるよう、レッスンを受けましょう。今日一日頑張って下さい。

〈閉講式〉

今は、キャンプを開催出来て本当に良かった、と心から思っています。先ず、素晴らしい演奏を披露して下さった若きチェリストの皆さんに、本当に「おめでとう」と言いたいです。そして、その素晴らしい演奏を温かくサポートして下さったピアニストの方々に感謝致します。また、色々な困難にもめげず、これだけ多くの皆様にいらして頂け、本当に嬉しく思っています。これがやはり、チェロそして音楽の未来なのだな、と思っております。担当理事の山崎先生をはじめ、チェロ協会スタッフの方にはキャンプ開催に向け多大なご尽力を頂き、また堀先生、山崎先生、長谷川先生には素晴らしいご指導を賜り深く感謝申し上げます。最後に、長谷川先生が開講式で仰っておられたように、チェロという楽器を通じて、皆様にはますます交流を深めて頂き、そして将来を担っていって頂きたいと思います。皆様が今後どのように成長されるか、本当に楽しみにしています。

VOICE

S-213 藤原 寛太

今回このような状況の中で、ジュニア・チェロ・キャンプが開催できたことを大変嬉しく思います。

最初に堤先生のレッスンでエルガーを弾いた時は力がこれ以上ないほど入ってしまい、それに伴って音程もはずれてしまったので、何といわれるかとても怖かったのですが、「去年よりだいぶうまくなったね」と言ってくださったので、一安心できました。

その後はエンドピンを少し短くしたらというご指摘のおかげで、力がかなり抜けるようになり、ホールの響きを感じながら演奏ができました。また、オーケストラとの兼ね合いに関してのご指摘もしてくださったので、新たな課題を見つける機会にもなりました。

本番は完璧とは言えなかったのですが、レッスンで頂いた注意を意識して演奏できました。それから発表会終了後に、山崎先生から「響きが課題だね」といわれたので、意識しながら1年間練習していきたいと思います。

最後になりますが、今回ご指導して下さった先生方、今回のキャンプ全体をあつく支えて下さった事務局の皆様方、本当にありがとうございました。

参加者の声

ゲネプロで堤先生に「すごくよかったよ」とほめてもらったのが、とてもうれしかったです。一生の宝物になりました。

山崎先生、丁寧に教えて下さってありがとうございます。本番の時も見守って下さって、とても安心して弾くことができました。これからも教えてもらったことを意識しながら頑張って練習していきたいです。（中略）伴奏の鳥羽先生にも私のばらけた演奏にあわせてくれて、本当にありがとうございました。

今回のジュニア・チェロ・キャンプでは、堀先生に多くのことを教えてもらうことができました。（中略）フレーズをまとめるためのヒントをたくさん教えてもらったり、弓のコントロールのことを教えてもらったりしました。自分が正しい音程をつくろうと考えたりすると、ついフレーズのまとまりを意識するのを忘れてしまうことに気づくことができました。

本番がなかなかなかったので、このチェロキャンプでお客さんに聴いてもらってとても嬉しかったです。（中略）コロナがおさまった年のチェ

応募段階では、世の中が先行きの見えない不安を抱える中にも関わらず、全国各地から 36 名の申込があり、多くの方々からジュニア・チェロ・キャンプ（以下 JCC）にご関心を寄せていただけていることを大変嬉しく思います。例年 JCC で大切にしている参加者同士の交流 (皆で昼食を囲むことや懇親会) の時間が設けられませんでしたが、会期中に 1 年振りの再会を喜ぶ参加者の様子や成長を拝見すると、胸が熱くなり、継続・開催の意義を再確認いたしました。また日常に戻り、沢山の笑顔と共に次回の JCC が執り行えることを、講師、事務局一同、切に願っております。

このような時期に、ご協力頂きました桐朋学園大学の皆様にも深く御礼を申し上げます。

山崎先生より

〈閉講式〉

今日はお集まり下さりありがとうございました。結びの言葉として、私は既に来年の開催に向けて考え始めている、ということをお伝えします。毎年参加下さっている皆さん、そして今回初めて参加してみて、来年も参加してみたいという皆さんに、是非また参加して頂けると嬉しく思います。子ども達の演奏は何度聴いても、音楽に真剣に向かっている姿を目にすると、本当に勇気をもらえるような気がいたします。堤先生が仰っていましたが、チェロの、クラシック界の未来をここにいる皆さんで背負っていってくれるのだなと思うと、明るい未来が見えているような気持ちになりました。本当にありがとう。そして来年もそのような気持ちで、是非参加して頂きたいと思います。

また、引き続き堤先生にもご指導を賜ることが叶いましたら、本当に心強いと思います。ピアニストの皆様、事務局の皆様、今日はお力添えに心より感謝いたします。皆さんにおかれましては、ご健康に留意いただき、また来年お会いしましょう。

発表会プログラム

C.サン=サーンス：チェロ協奏曲 第1番 第1楽章
小4（山形）

C.サン=サーンス：チェロ協奏曲 第1番 第3楽章
小6（神奈川）

P.I.チャイコフスキー：ノクターン
D.ポッパー：スピニング・ソング
小5（埼玉）

E.ラロ：チェロ協奏曲 第3楽章
小5（神奈川）

J.S.バッハ：無伴奏チェロ組曲 第3番 プレリュード
中3（北海道）

L.ボッケリーニ：チェロ協奏曲 第1楽章
中2（北海道）

G.E.ゴルターマン：チェロ協奏曲 第3番 第1楽章
中2（東京）

E.ラロ：チェロ協奏曲 第1楽章
中2（千葉）

E.ラロ：チェロ協奏曲 第3楽章
中2（東京）

E.エルガー：チェロ協奏曲 第1・第2楽章
中2（神奈川）

E.エルガー：チェロ協奏曲 第4楽章
中2（兵庫）

ロキャンプは1泊2日でみんなと泊まりたいです。

友達やあこがれの中学生のお兄さんに一年ぶりにあえて嬉しかったです。次回はチェロを皆で弾きたいです。

近い年代のチェロを弾く友達と交流できる機会がありとても嬉しいです。遠方から参加させていただいた私達にも丁寧で細やかな対応で安心して参加することができました。

ゲネプロで４人の先生方全員に聴いて頂き、とてもためになりました。自分から欲するものがないと成長しないと言われたことをずっと覚えていようと思いました。

僕は、今後①腕、肩の力を借りて弾く②右の手首はへこまないように③広い形の時の４の指④リズムは正確に⑤体全体で弾くという事をもっと考えて弾こうと思いました。これは今まで自分が先生から注意されている事でしたが、なかなか直せなかったことで。他の人がアドバイスを受けているのをみるとよくわかりました。

私は講評でもいただいた「自分の音を見つける」というのが今後の一番の課題なのかなと思いました。自分が弾いていて気持ちがいい音色を見つけようと思います。

堤先生からレッスンを受けたことが一番素晴らしい経験でした。他の人のレッスンを見るのもすごく面白くてたくさん勉強になりました。

堀先生より

〈閉講式〉

今回はコロナ禍のなかでの開催でしたが、このような経験が出来るということは本当にとても貴重だと思います。私は、ここにいらっしゃる先生方と同じ世代ですが、個人的には、おさらい会（発表会）というのは経験が少なくて、「ちゃんと弾けるようになるまでは人前で弾かない」という指導の下、コンクールで初めて人前に出て演奏するという時代でした。一次予選では、何を弾いたか思い出せなくなるような感覚になり、「たぶん止まらずに最後まで弾けたな…」という記憶しか残っていないということもありました。本当に、今日のように人前で演奏できるというのはやはり経験がものを言うと思いますし、度胸も付くと思います。色々な経験が出来るというのは本当に羨ましいなと思います。これからもこのような機会が沢山あると思いますが、その度に皆さんが少しずつ成長していくことが、我々にとっても大変楽しみです。これからも一生懸命頑張って下さい。お疲れ様でした。

長谷川先生より

〈閉講式〉

今日は本当にお疲れ様でした。皆さんが熱心に受講して下さり、私が少しアドバイスをお伝えするだけでメキッと成長が見られて、すごい世代だなと感激しながらレッスンを行っていました。先ほどのゲネプロから、私達も聴かせて頂きましたが、皆さんは、ゲネプロよりも本番で大変良く弾けていて、本番が強い人たちなのだなと感心し、非常に頼もしいと思いました。

これからまだまだ皆さん長い人生が待っていますが、その中で本当に今日という日が素晴らしい日になったことをお祈りしています。また是非よかったら来年参加して下さい。ありがとうございました。

保護者さまより

- 長谷川先生のレッスンはとても教え上手で、例え話を使いながら楽しく進められていて、聴講していてひきこまれました。
- 昨年アンサンブルコースで仲良くなったお友達と、今回ソロコースで再会でき、ますます仲良くなって嬉しかったです。（高校生にもこのような機会がほしいです）
- 発表会では一人ひとりの演奏が終わった後に、椅子を丁寧に除菌して下さるお姿に頭の下がる思いが致しました。
- 先生方がチェロを大切に思う子全部を育てて下さろうと思う気持ちに感謝の気持ちでいっぱいです。
- みなさん本当に熱がこもっていて、真剣で力強く、素敵な演奏ばかりでした。雰囲気もあたたかくてよかったです。司会進行も色々な所に気を使いつつ、スムーズで素晴らしかったです。

拝啓、いかがお過ごしですか

コロナ禍でままならない日々ですが
みなさま、いかがお過ごしですか？
5人のチェリストに、聞きました。

Hello

R-083 河野 文昭

今年のコロナ禍のおかげで、演奏会もなくなり大学のレッスンや会議もすべてオンライン。3月から8月末までは京都の自宅に閉じこもっておりました。その間、演奏会という目標も失い、Wifi経由の悪音質でのチェロレッスンに閉口し、ストレスが溜まるばかり。

ただ室内楽（弦楽四重奏）のレッスンはオンラインでミーティングの形式にし、出された課題についてディスカッションを行う、という方法で行いました。そのことで実際に音を出す前に、楽曲への理解を深めた上で演奏の方針を考えるなど、とかく集まればすぐに音合わせばかりをする学生たちにとっては、有意義な経験だったのではないかと思います。

その他自由になる時間が増えた中で、日頃は手を出せなかった専門書からミステリー小説に至るまでいろいろな本を読み、映画もたくさん見ることができたのは大きな楽しみでした。また会報に松田健さんが書いておられる「チェロの100年史」（道和書院）の日本語版の校正を一寸お手伝いした上、推薦の言葉も書かせていただきました。チェロを弾く者にとっては必読の専門書ですが、彼の翻訳がとてもていねいで読みやすく、ぜひ多くの皆さんにもお読みいただくことを私からもお勧めいたします。

また毎日家の小さな庭に注意深く目を向けるようになったでしょうか。草木が葉をつけ、芽を出し、花を咲かせ、コロナとは全く関係のないところで刻一刻と、自分たちの自然の営みを行っている様を再発見。やかましくて迷惑がっていたクマゼミの羽化もおまけで目撃しました。

忙しい生活の中では気が付かなかったことに出会えた喜び！この期間のポジティヴな思い出だけを心に残していきたいものだと思うこのごろです。

庭先の台湾バイカカラマツ

R-165 松田 健

こんにちは。ヴァレリー・ウォルデン著『チェロの100年史』（道和書院）を翻訳した松田健と申します。本書もコロナ禍の影響を大きく受けましたが、無事上梓できました。コロナ禍といえば、勤め先ではリモート教材の

作成で大変でした（です）が、人とのつながりの大切さを実感する毎日です。

さて私はこの40年ほどチェロの専門書を読んできました。ほとんど英語の本です。一方、日本語の本が少なく、僭越ですが、翻訳することで日本のチェロ界に貢献できそうな本を探しておりました。共通基盤を提供しうる本、です。数年前、懸田貴嗣さんにこの原書を紹介していただき「これだ！」と確信しました。

本書では楽器と弓の変化、フィンガリングとボウイングの変化、名手たちの人生、特殊奏法や装飾音などが網羅されています。各国の歴史的な教則本や論考が詳しく比較・分析されている「すごい」本です。プロ奏者、アマチュア奏者、チェロ教師、チェロを学ぶ方など、チェロを弾く方、チェロファンの方々に楽しんでいただけるでしょう。リファレンスとして、楽譜棚の端に置いて下さることをオススメします。

本書を読むと、過去・現在・未来の全てのチェロ奏者とつながっているような気がしてきます。そしてドッツァウアーやデュポールの教則本が、ぐんと親しみを増してくるから不思議です。我々はチェロという宝物を、みんなで大事に育てているのですね。

なおウォルデンさんは来日してレクチャーやマスタークラスをすることを熱望しておられ、実現できればいいな、と思っております。

R-186 西村 志保

私が住むベルギーは今コロナパンデミック第2波の真っ只中にいます。今回は学校を閉めないで乗り越えられるよう、子供達優先の措置が昨日発表されました。夏から徐々に解除されてコンサート・オペラ会場も客席を大幅に削減し、休憩なしのプログラムを最大200人の観客で行っていたのですが、とうとう明日からブリュッセル全ての文化会館、劇場、映画館は全て封鎖されることになってしまいました。

第1波でのロックダウンが行われた3月と、外出規制緩和された5月に私の所属するチェロ八重奏団「Ô-CELLI（オーチェリ）」でビデオを作りました。個人的には、5歳の双子が家にいる中、バロックチェロの修士課程を6月に修了するための練習と仏語で論文を書くのに必死でした。6月の修士リサイタルでは無観客で4人の審査員の前のみでしたが、3ヶ月ぶりに人と会い、人と一緒に人前で演奏できた時の喜びと感覚は言葉では表現できません。また、夏には古楽器による弦楽四重奏「Les Quatre Elements（レ・キャトル・エレモン）」として野外コンサートで演奏し、音楽を体と心で感じ、感動できる喜びも実感しました。

本当だったら今はオーチェリでのカナダツアーに行ってる予定でした。いつまでこの状況が続くのか精神的に限界が来そうですが、今の所オーチェリのリハーサルはマスクと距離を保てるなら行えるので、新しいプログラムを編曲して次のコンサート、CD録音のための準備をしています。音楽は人とのコミュニケーションが必要です。そして、人は音楽が必要です。辛い状況ではありますが、今できることを前向きに、乗り越えて行きましょう。www.o-celli.com

R-342 田中 渚

私は音楽専門の建築事務所を経営し、事務所横に併設した音楽スタジオを開業して5年になります。5周年のイベントを計画していた矢先に、コロナ禍になりました。音楽を軸に集まる空間を研究・設計してきた私にとっても、集まってはいけないという状態は未経験でした。

幸いにも、ステイホームの影響か防音室の問い合わせが増え、仕事が無くなることはありませんでした。しかし、スタジオは1ヶ月の完全休業の後、再開のタイミングが読めないものでした。

そんな時、学生さんを支援するお話があり、スタジオの空き時間を提供できると考えました。また、私の設計した音楽マンションAkkord浅草橋も、東京藝大に近いことから、より学生さんに提供できるのではないかと考えました。

もう一つスタジオ利用で活路を見出したのはオンラインでした。コンサートへの・遠方からの参加・アーカイブ利用・会場のキャパの概念が無くなる、など取り組んでいくうちに、リアルとは違うメリットがあると知りました。

音楽スタジオ 空音舎

最近ではスタジオは収録や配信に使われる頻度が増えています。また個人的には、寝たきり等でコンサート会場へ来るのが難しい方と連携を図り、オンラインで一緒に楽しめる音楽イベントを計画しています。

幸か不幸かコロナ禍は私にとって新たなツールを開拓し、前に進むきっかけになりました。私はアマチュア音楽家として、音楽をやりたい人がバリアフリーになる取り組みをしたいと思っています。防音室はその一つのツールです。これからも音楽やスタジオを通じて知り合った方と共に楽しみ、困った時はお互い協力出来れば良いなと思っています。

R-498 Tamás Varga（タマーシュ・ヴァルガ）

©Olga Kretsch

3月のロックダウンのために、ミュンヘンのオーケストラとのツアーを切り上げて帰宅しました。オーストリアは外出禁止のルールが厳しく、家族4人でずっと家に居ました。幸い、庭があるので、これを機会に、コテージの屋根を張り替えたり、息子たちに新しいトランポリンを組み立てたり、これまで後回しにしてきた家のことを沢山やりました。

普段は、数か月先まで詳細な予定が決まっていますが、次の演奏会が4月か9月か来年か、さっぱりわからない現実に愕然としました。音楽に対する気持ちはあまり変わらず、自分にとって必要なことです。楽器を持って座ると、何か言いたいこと、表現したいことを感じました。

教師としては、オンライン指導になりました。最初は難しかったけれど、色々な接続方法や機器、方法を試し、今は安定しました。時間ができたので、有名無名様々な曲を練習し、レパートリーを広げました。幸運にも息子二人が楽器を演奏するので、何曲かアレンジし、一緒に美しい音楽を演奏しました。自宅の階段で近所の人たちのために演奏したり、インターネットを介して家族や友人の為に、また、妻の誕生日にはサプライズコンサートをしました。

今、私は仕事ができてとてもラッキーだと感じます。以前は、お客様の前で演奏会をすることは普通のことでしたが、今では多くの音楽家たちがその機会を待たなければなりません。コンサート全体、演奏そのもの、そしてお客様にも安心してお楽しみいただける、パーフェクトな演奏会ができる日が早く来ることを願っています。

R-062 Tsurukichi SAITO

齋藤 鶴吉さん

1. 近況を教えてください

2021 年に米寿を迎えます。2015 年にロータリークラブでの演奏会で「白鳥」の本番中に脳出血で倒れてしまいましたが、演奏家の心掛けを応用して前向きに人一倍頑張り、驚異の回復を遂げました。リハビリ病院では堤剛会長所縁の看護師長さんに偶然担当してもらったり、入居している施設ではアメリカチェロ協会を創設された日本人の渥美さん所縁の方がインタビューに訪れたり、チェロのもたらした幸運のお陰で楽しく毎日を過ごしています。

・演奏家の心掛けについて教えてください

目に見えて効果がでていなくても、信じたことを規則正しく励行、急がば回れです。真実はその中に有ります。実際面では、体幹を鍛えていつも姿勢よく、利き手以外の左右も同様に使う、練習あるのみ、というような意識です。

2. チェロを始めたきっかけを教えて頂けますか？

9 歳年長の次兄で作曲家の孝順 (筆名高順) の勧めによります。

3. 一番ワクワクするときは、どんなときですか？

素晴らしい演奏のチェロを聴いた時です。80 歳過ぎてから奏法で新たな発見を実感した時もです。N 響に入団した頃の錚々たるソリスト、カサド、ピアティゴルスキー、フルニエ、ロストロ、1960 年の世界一周演奏旅行で弱冠 18 歳のソリストとして同行された堤剛さんにも、ワクワクしました。

（余談ですが、この世界一周旅行の途中イタリアで、恩師吉田貴壽先生がカピキオーニに注文しておいて下さった新作チェロの製作進捗状況を、指揮者の外山雄三氏がイタリア語で尋ねてくれたのもワクワクしました。）

・（堤さんとの）エピソードについてお話いただけますか。

堤剛さん中村紘子さん二人のソリストとも天才少年少女だから、僕達悪い楽員とは付き合わない！ので、あんまりエピソードも無いですが、ロンドンで振袖で弾いた中村さんに対し堤さんは気取らない性格の方という印象で、N 響の練習所でも早々と来て、ソロ用の高い台の上で音階をさらったり、真面目な方だったですね～。

4. チェロ以外に好きなことはありますか？

花を育てる、近年は時間もあるので「読書」、放送番組で音楽鑑賞し最新の音楽情報を常にチェックすること、中学・高校時代に夢中になったスキーもです。

5. プロのチェリストを目指している学生や若いチェリストに望むことはありますか？

プロアマを問わず、教養を深めること。若いチェリスト達のけれん味の無い演奏には、脱帽しますが、私は片麻痺で演奏もままならなくなる直前の 82 歳のリサイタルが予期せぬ最後の演奏会になりました。悔いのないようにどんどん活動してください。

Upcoming Events

齋藤鶴吉チェロリサイタル　典雅なるバロックの調べ (CD)

料金／ 2,800 円 (税込)
出演／ローラン・テシュネ (チェンバロ)Laurent Teycheney
録音／ 1999 年 10 月 1 日　横浜みなとみらい小ホール (ライブ)
問／横浜室内楽協会　045(751)0277

R-255 Sayaka HORI

堀 沙也香さん

1. 近況を教えてください

新型コロナウィルスの影響で、3 月から全てのコンサートが延期や中止となりましたが、8 月終わり頃から少しずつではありますが、演奏できる場が戻ってまいりました。ネットでの配信はもちろん、ホールで演奏する機会も増え、お客様に生の音を聴いていただけるようになってきたことは、本当に嬉しいです。

2. チェロを始めたきっかけを教えて頂けますか？

父がチェリストなので、気がついたらチェロを持ち、レッスンに通っていました。

3. 一番ワクワクするときは、どんなときですか？

アンサンブルをしている時など、共演者と自分の音楽表現に対する感性が似ているなと思ったとき、同調出来たとき、凄くワクワクするし、本番ではどんな表現が出来るかなとワクワクします。

4. チェロ以外に好きなことはありますか？

美味しい物を食べること。周りに食いしん坊な音楽家が多いので情報交換をしたり、演奏旅行で地方へ行くと、必ずその土地の名物を食べに行きます。旅行も好きで、まずは国内旅行ですが、いつか地球上全てを網羅したいです。ここ数年はミュージカル鑑賞にもハマっていて、話題の公演はだいたい観に行っています。毎回、クラシックとは違うパワーをもらって帰ります。

5. 今後どのようなチェリストとして活動していきたいですか

どのような場面でも、聴いてくださる方の心に届く演奏が出来るようなチェリストでありたいと思っています。父とのデュオをお聴かせ出来る機会も、今まで以上にあったらいいなと思っています。

Upcoming Events

Cello × Cello × Piano
二本のチェロとピアノでお届けする音の花束

日時／ 12 月 20 日 (日)15:00 開演 (14:30 開場)
会場／サーラ・マサカ Sala MASAKA　横浜市戸塚区品濃町 514-13
出演／堀 了介、堀 沙也香 (Vc)、吉田 友昭 (Pf)
料金／ご来場の場合 :4,000 円 (予約制・全席自由・限定 35 席)
　ライブ配信・アーカイブ配信をご視聴の場合 :2,000 円
問／サーラ・マサカ Sala MASAKA
　TEL : 090-3504-4379 Mail : salamasaka@outlook.com

前半はそれぞれのソロを、後半はデュオのプログラム。デュオでは、普段はピアノ付きの曲を演奏することが多いのですが、今回初めてバリエールを演奏致します。また、これまでに演奏している曲も 2 人のパートを入れ替えたりしているので、初めて親子デュオをお聴きくださる方はもちろん、これまでに聴いてくださったことのある方にもお楽しみいただけるかと思います。

Cellists Update

©Karin Hirokawa

R-614 Yoshito OMIYA
大宮 理人さん

1. 近況を教えてください

新型コロナウィルスの影響で予定されていた本番やライブ、ツアー等が軒並みキャンセル・延期になり、ぽっかりと空いてしまった時間の中で新しい事に色々挑戦中です！そのような中、パウロニアチェロカルテットのメンバーで疑似的にチェロカルテットを楽しめる新しいコンテンツを作りました。楽譜提供をしてくださったチェロ協会の石島さんには感謝してもしきれません！今後も曲を順次増やしていくつもりなので、是非チェックして頂けると嬉しいです。

2. チェロを始めたきっかけを教えて頂けますか？

9歳上の兄（大宮臨太郎）がバイオリンを弾いていたのもあり自然と音楽と弦楽器に興味を持ちました！チェロに決めたのは、ずっと立って練習している兄を見て幼いながらに「大変そう…」と思ったからです。

3. 一番ワクワクするときは、どんなときですか？

アンサンブル等で複数人と弾いているとき、音楽と共にお互いのテンションの変化や感情を共有出来ていると感じる時ですね。最高にワクワクします！

4. チェロ以外に好きなことはありますか？

一般的に危険なイメージを持たれることが多いのが難点ですが…サバイバルゲームが大好きです。実際は安全に十分配慮した健全なスポーツですが…

5. 今後どのようなチェリストとして活動していきたいですか

クラシックもポップスも分け隔てなく、色々なジャンルで仕事が出来るチェリストになりたいです。

そして欲張りかもしれませんが、チェロカルテットの認知度を上げられるようなチェリストにもなりたいです。大規模なチェロアンサンブルに比べて編成（パート？）が減るとその分指の数も減り、楽曲の全てを再現するのに限界はありますが、そこはアレンジャーの腕の見せ所。弦楽四重奏の様にパートを４つに分ける事によって無理なく充実した音楽が楽しめるのも一つの魅力だと思っています。自分と違う感性を持ったメンバーと互いの身体の動き・表情・呼吸を感じ合い、一緒に音楽を練り上げていく時間は大変でも楽しいですね。

Upcoming Events

CHAMBER MUSIC PLAYERS OF TOKYO

日時／ 12 月 14 日（月）19:00 開演（18:00 開場）
会場／紀尾井ホール
料金／一般 4,000 円、学生 1,000 円
出演／ Pf 永野光太郎
Vn 須山暢大、奥野玄宜、尾張拓登、倉冨亮太、島方瞭、對馬哲男、堀脩史、森岡聡、横島礼理
Va 鈴村大樹、多井千洋、横溝耕一
Vc 伊藤文嗣、大宮理人、村井智
Cb 谷口拓史
問／（株）オーパス・ネクスト tokyostrings_soc@opus-next.com

須山暢大君を中心に若手演奏家が集まり、熱い演奏を繰り広げます！！！僕自身とても楽しみにしている公演でして、ご来場頂ければ楽しんでいただけると間違いなしだと確信しています！！！

© 井村重人

R-558 Anri TSUKIJI
築地 杏里さん

1. 近況を教えてください

クァルテット・インテグラとして活動して６年目になり、先日サントリーホール室内楽アカデミーの第５期が終了して、第６期が始まりました。しばらくコロナ禍で活動が大分制限されていましたが、６月頃から LIVE 配信や、収容人数を減らしての公演など、今までになかった形のコンサートを多く経験しました。

・新しい形のコンサートの中で、新たな発見はありましたか

無観客でのコンサートを経験して、やはり客席にお客様がいる環境というのはとても幸せで、演奏がはじまる前の独特な雰囲気や終わった後の熱気など、演奏する側も観客との空間に助けられているのが感じられました。ですがライブ配信というのは何度でも聴ける、場所が限られずに聴ける、色々な角度から奏者を見ることが出来るなど、多くの利点があることは確かで、コンサートを更に楽しめる手段が増えた事を嬉しく思っています。

2. チェロを始めたきっかけを教えて頂けますか？

年少の時に幼稚園で行ったアウトリーチのコンサートの時に、初めてチェロと出会いました。私自身では覚えていないのですが、ずっと「大きいヴァイオリンがやりたい」と言い続けて、やっと小学３年生の時に始めさせてもらいました。

3. チェロ以外に好きなことはありますか？

絵を描くことです。たまに家族や身近にいる人を描くときがあるのですが、その人のことをじっくり見ながら描いてみると今まで気付かなかったようなその人の魅力的な部分や特徴等、色々と気付くところがあって楽しいです。

4. 今後どのようなチェリストとして活動していきたいですか

クァルテット・インテグラとして生涯活動を続けていきたいと思っています。カルテットを軸に、ソロや室内楽やオーケストラ等、色々な目線から物事を捉えられるように勉強していきたいと思っています。

・カルテットで演奏する醍醐味や、結成されたきっかけは？

弦楽四重奏というのは無駄が一切ない究極な形だと思います。残りの人生を全てかけてもやり切れないほどの曲数があるのでじっくり楽しんでいきたいです。クァルテット・インテグラは桐朋学園の学生時代に、学校のカリキュラムで組み始めました。グループ名変更を経て今に至ります。今の名前は元東京クヮルテットの磯村先生に名付けて頂きました。是非この機会に名前を覚えて頂き、末永い応援をよろしくお願いいたします！

Upcoming Events

クァルテット・エクセルシオ×クァルテット・インテグラ

日時／ 2021 年 3 月 14 日（日）14:00 開演
会場／第一生命ホール
料金／一般 4,000 円　シニア 3,500 円（60 歳以上）　U25 1,500 円（25 歳以下）
一般発売／ 2020 年 12 月発売予定 (発売初日のみ 10:00 ～受付開始)
https://www.triton-arts.net/ja/concert/2021/03/14/3172/

MEMBERS VOICE　R-621 宇恵 直樹 さん

私は、大学オケでチェロを演奏していましたが、長いブランクを経て、7年前から再開しました。普段は基礎練習が中心ですが、音楽会の自主企画や、アンサンブル等もしています。

今回のチェロ・サロンは、私にとってチェロ協会で初参加のイベントでした。とても緊張しましたが、和やかに過ごせました。

クリニックでは、フォーレのシチリアーノを課題曲に選びました。技術的な悩みに、判りやすく助言いただきました。（小指の使い方、身体全体のバランス、ビブラートなど）表現方法についても、色々な例を見せてくださる等、大変有意義でした。

アンサンブルレッスンは、《白鳥》とブラームス作曲の《交響曲第3番》より第3楽章のチェロカルテット版でした。とても難しい編曲でしたが、短時間でどんどん形になる嬉しさがありました。ソロでは味わえない、多彩な音の魅力を感じました。

受講生の皆様のレベルも高く、西谷先生の親切なご指導もあり、刺激的な時間でした。次回以降も、ぜひ参加したく思います。

【参加者数】講師：1名、クリニック受講生：2名、アンサンブル参加者：18名、聴講：5名、合計29名
（会員：20名・非会員：3名・スタッフ：6名）

Cello Salon
チェロ・サロン 開催報告

2020年8月30日（日）に、サントリーホールのリハーサル室で、西谷牧人先生主宰による43回目に当たるチェロ・サロンが開催されました。

西谷先生は、東京藝術大学、同大学大学院、米国インディアナ大学を修了された後、兵庫芸術文化センター管弦楽団の創設メンバーを経て、2008～2019年まで東京交響楽団首席チェロ奏者を務められ、現在は、東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にもあたっていらっしゃいます。

今回のサロンは、感染症対策の一環として2部制にし、各回の参加者人数を減らし開催致しました。西谷先生からはシュタルケル先生の教えを例に出され「人が少ないからこそ、気軽に質問を飛び交わせて、存分にアンサンブルを楽しむ機会にしましょう」とのお言葉を頂き、参加者は思い思いに質問をされ、時を進めていくチェロ・サロンとなりました。

クリニックは、第1部では、石島栄一さんがバッハ《無伴奏チェロ組曲第3番ハ長調BWV1009よりプレリュード》を、第2部では、宇恵直樹さんがフォーレの《シチリアーノ》を課題曲としてお持ちになりました。

アンサンブルでは、西谷先生編曲のサン＝サーンス《白鳥》と、ブラームスの《交響曲第3番より第3楽章 Poco Allegretto》をご指導頂きました。

レッスン全体を通して、ビブラートの上手なかけ方や、弓のぶれに対する正しい持ち方など、お一人お一人のチェロの演奏技術が上達するようなアドバイスを頂き、その場で直ぐに実践され、少人数ならではの充実した会となりました。

今回のチェロ・サロンは、チェロ協会が主催するコロナ禍の中で開催する初めてのイベントとなったので、いつにも増して緊張感がありましたが、西谷先生を始め、皆様のご協力があり、無事に開催でき、たいへん嬉しく思っております。

事務局からのお知らせ

＜ 御礼 ＞

今年5月に緊急事態宣言が、6月に東京アラートが解除されるのを受け、チェロ協会では、練習場所確保にお困りの学生会員さん方を支援できないかと、微力ながらその橋渡し役をして参りました。

この学生支援にご賛同いただき、練習室を無償でお貸しくださった、(株) アコースティックデザインシステム様、Akkord 浅草橋 (アコルトあさくさばし) 様、空音舎様にこの場を借りて心より御礼を申し上げます。

引き続き、お困りの学生会員の方は、事務局までご相談ください。また、ご支援をお考えの方がいらっしゃいましたら、ご連絡いただけると幸いに存じます。

＜ お知らせ ＞

■第10回チェロの日

日程：2021年2月13日 (土) ・14日 (日)
会場：サントリーホール ブルーローズ
出演者：新倉 瞳、長谷川 陽子、三浦 一馬 (13日)
　　石井 奏、山本 琹路、山本 祐ノ介、チェロ・オーケストラ (14日)
チケット取り扱い：サントリーホールチケットセンター：0570-55-0017
※会員席は、上記の窓口および TEL のみで販売しています

編集後記

秋も深まり、日も短くなってまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

今年はコロナ禍により、生活が一変、新しい生活様式として過ごす日々に、事務局も随時対応して参りました。当協会も出来うる感染症対策を講じ、徐々にイベントも開催しておりますが、まだまだ油断ができない日々でございます。今後も、人数の制限など、例年通りのイベントの開催ができず、皆様にご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程、何卒よろしくお願い致します。

長引くウイルス感染症の影響により、音楽業界でも公演の中止や延期を余儀なくされ被害が大きいことと思います。関係者の皆様へは心よりお見舞い申し上げると共に一日も早い収束と皆様のご健康をお祈りします。

■掲載写真について：各イベントの集合写真は、撮影直前にマスクを外し撮影しております

チェロ協会の公式サイトに情報を掲載できます

チェロ協会の公式サイトでは、公演情報や会員の皆さまのチェリストとしてのプロフィールを無料で掲載しております。ぜひ情報をお寄せください。

チェリストを探す　公演情報

一般財団法人 日本チェロ協会（JCS NEWS）第56号　2020年10月31日発行

発　行　一般財団法人 日本チェロ協会
東京都港区赤坂1-12-32 アーク森ビル22階 私書箱509号
電話 03-3505-1991　FAX 03-3582-1310　E-mail office@cello.or.jp

発行人　堤 剛
編　集　日本チェロ協会事務局
編集協力　株式会社アイデアリズム